

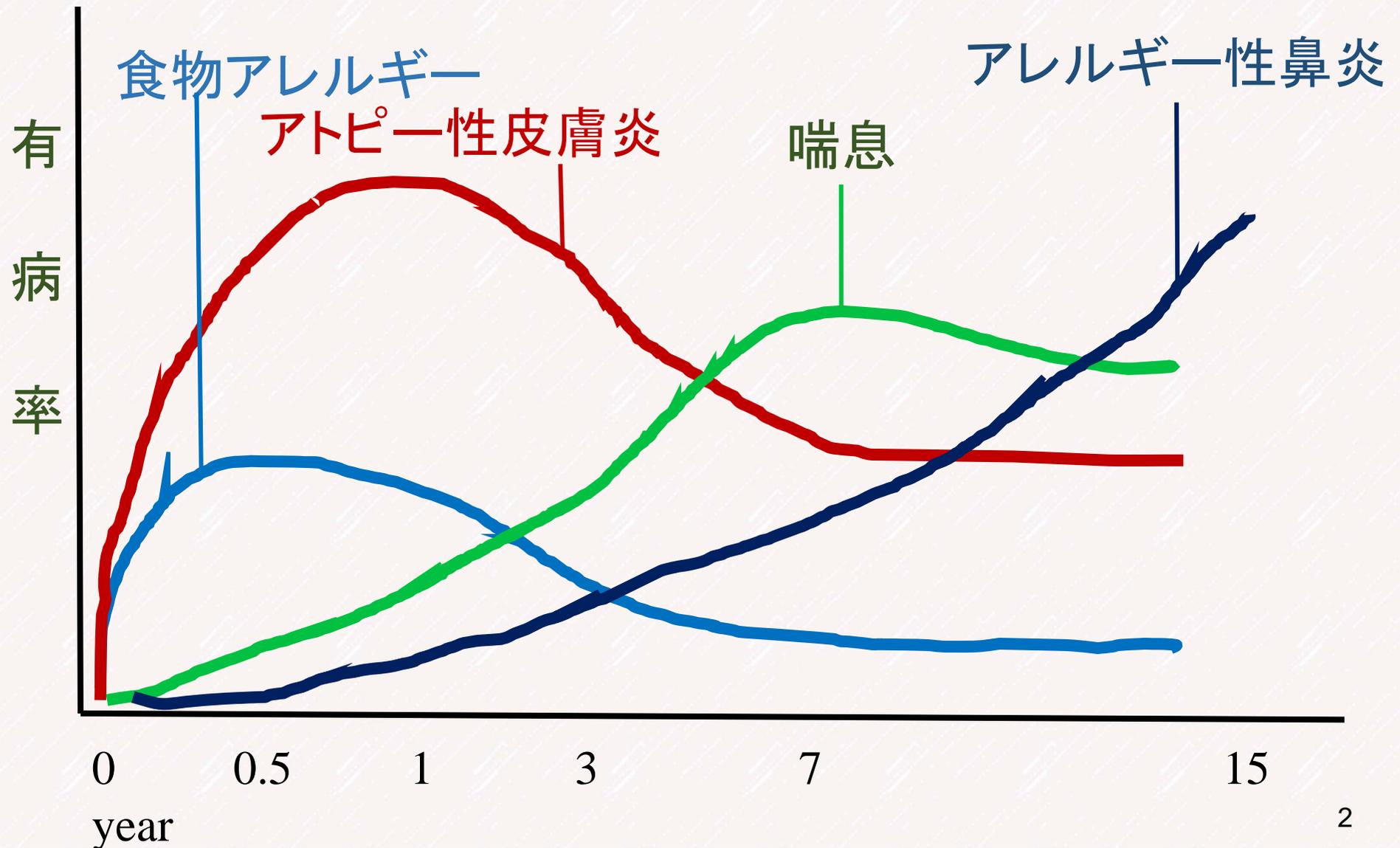


② 10万組の親子から考えるアレルギーについて

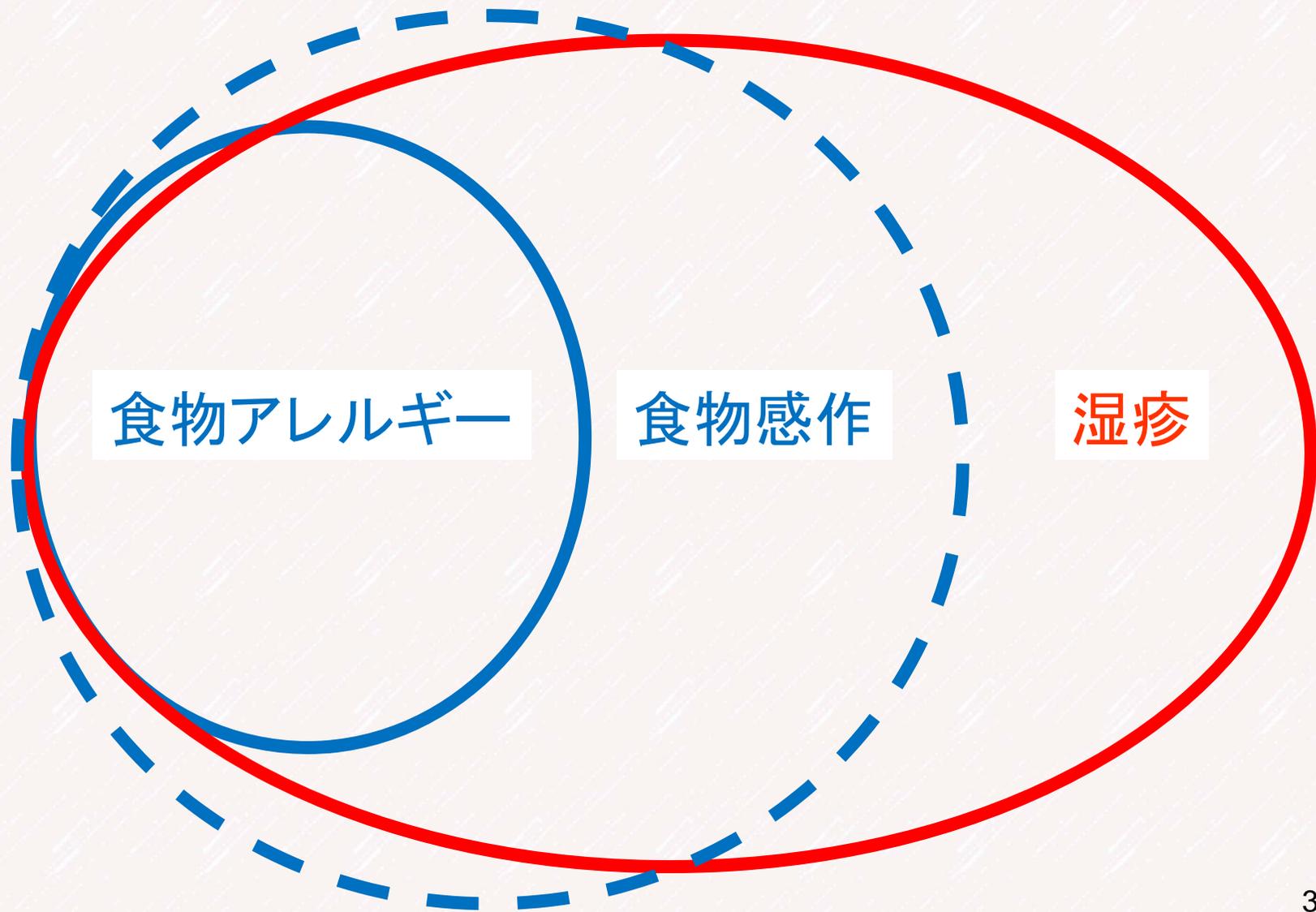
独立行政法人国立成育医療研究センター
エコチル調査メディカルサポートセンター特任部長
生体防御系内科部アレルギー科医長

大矢 幸弘

アレルギーマーチはアトピー性皮膚炎と食物アレルギーから始まる



乳児期の湿疹は食物アレルギーを合併することが多い



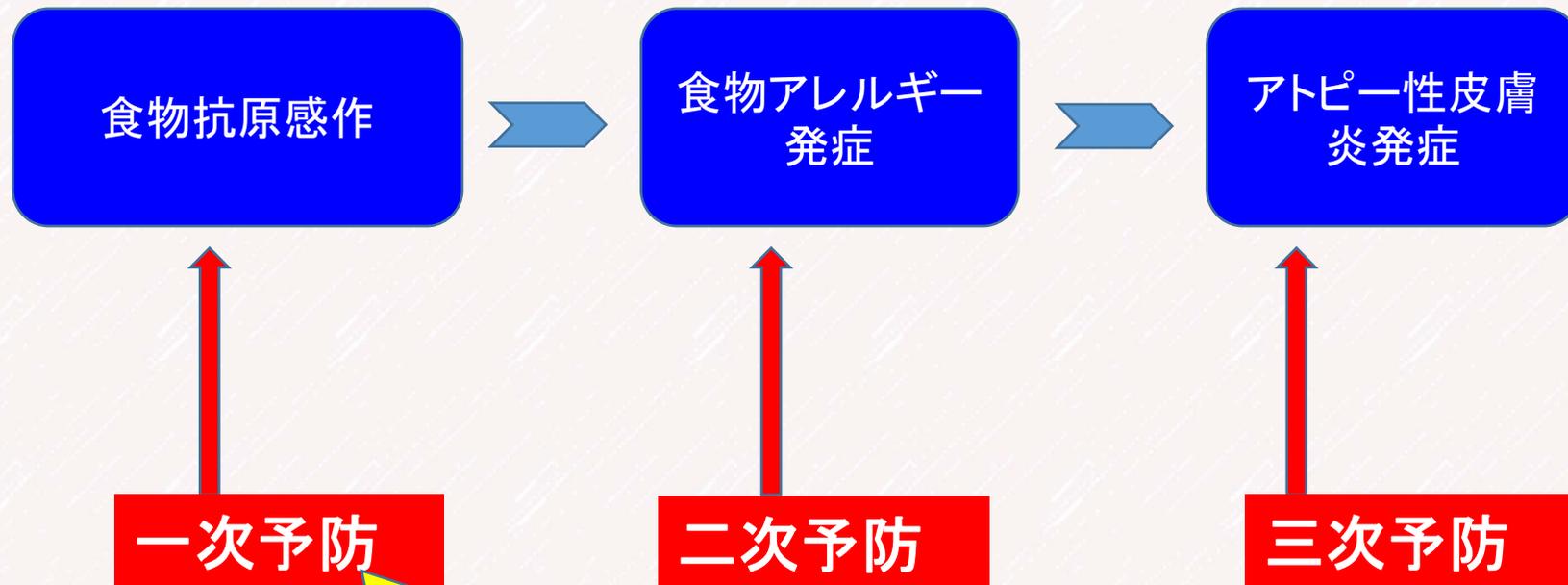
食物アレルギーがアトピー性皮膚炎の原因？

かつてはこのような考え方が支配的だった
しかし、説明できない現象が多い

アトピー性皮膚炎が食物アレルギーの原因？

最近はこの考え方が有力になってきた
これまでの謎の多くに説明がつく

乳児期のアトピー性皮膚炎の原因が食物アレルギーだとする仮説が正しいとすると



食物抗原による感作を防ぐことが重要

妊娠・授乳中の食物制限は有効か？

- 妊娠中の食物制限に、18ヶ月時の卵感作の予防効果なし
- 妊娠中の食物制限に、18ヶ月時の牛乳感作の予防効果なし
- 妊娠中の食物制限に、18ヶ月時のアトピー性皮膚炎の予防効果なし

アレルギー疾患のハイリスク児に対する感作予防

• 米国ガイドライン

		米国AAP 2000	米国AAP 2008
ハイリスク児の定義		両親・同胞に 2人以上の アレルギー疾患	両親・同胞に 2人以上の アレルギー疾患
ハイ リスク 児に 対して	妊娠中の母親の 食物抗原除去	ピーナッツ以外は 推奨しない	推奨しない
	授乳中の母親の 食物抗原除去	ピーナッツ・ナッツ類 除去 (卵・牛乳・魚も考慮)	推奨しない
	乳児期の 加水分解乳	推奨する	推奨する

アレルギー疾患のハイリスク児に対する感作予防

妊娠授乳中・乳児期に予防のために食物制限を行うことは推奨されなくなった

		アメリカ (小児科学会) 2008年	ヨーロッパ (小児アレルギー学会など) 2008年	日本 (小児アレルギー学会) 2012年
ハイリスク児の定義		両親・同胞に1人以上の アレルギー疾患	両親・同胞に1人以上の アレルギー疾患	両親・同胞に1人以上の アレルギー疾患
ハイ リスク 児 に 対 し て	母親の妊娠中の 食物抗原除去	推奨しない	推奨しない	推奨しない(偏食はしない)
	母親の授乳中の 食物抗原除去	推奨しない	推奨しない	推奨しない(偏食はしない)
	乳児期の 加水分解乳	推奨する	推奨する	医師の指導の下に
	固形食導入	4～6ヶ月から開始 抗原性が高い食物を 除去する根拠はない	5ヶ月から開始 抗原性が高い食物を 除去する根拠はない	5～6ヶ月頃が適当

生後3ヶ月のときアトピー性皮膚炎があると食物抗原に感作を受ける危険性が高くなる

英国の生後3ヶ月の完全母乳栄養の乳児619人から得られたデータ

	オッズ比	(95% CI)	P value
アトピー性皮膚炎なし	1		
アトピー性皮膚炎あり	6.18	2.94 - 12.98	<0.001
重症度の低いアトピー性皮膚炎 SCORAD<20	3.91	1.70 - 9.00	0.001
重症度の高いアトピー性皮膚炎 SCORAD \geq 20	25.6	9.03 - 72.57	<0.001

J Allergy Clin Immunol
2008;122:984-91



ピーナッツアレルギー
多いのはどっち？

イギリス

イスラエル

J Allergy Clin Immunol
2008;122:984-91

ピーナッツの**食べ始め**が
早いのはどっち？

イギリス

イスラエル

牛乳や離乳食の開始時期および母乳期間は2歳時での牛乳や卵の抗原感作率に影響なし

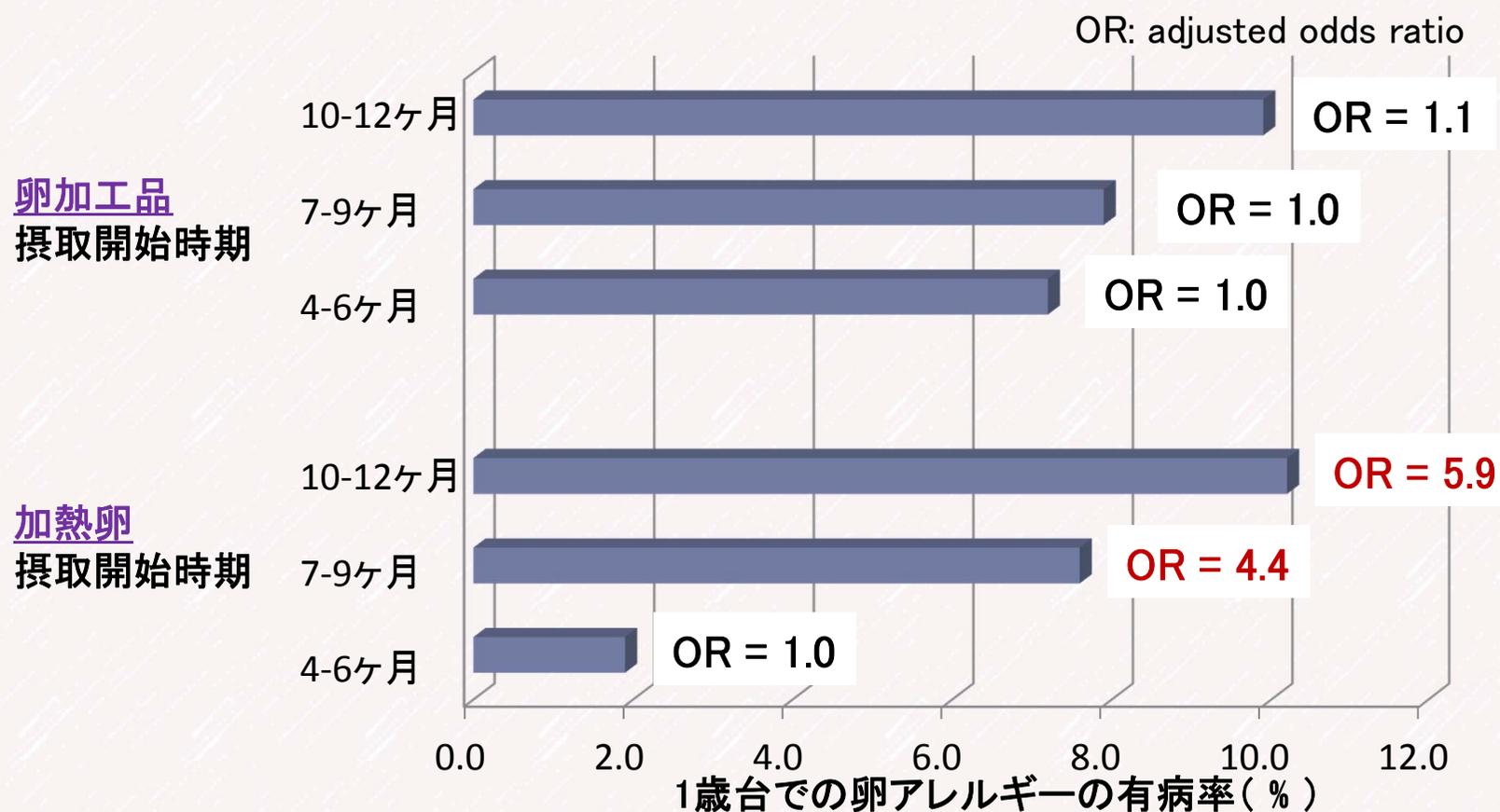
離乳食の開始が遅いほど2歳時のアトピー性皮膚炎や反復喘鳴(乳児喘息)が多くなる

PEDIATRICS Vol. 122 No. 1 July 2008, pp. e115-e122

ピーナツアレルギーが10倍も多い英国ではイスラエルよりもピーナツの摂取開始時期が遅い
英国の子どもはアトピー性皮膚炎がイスラエルよりもかなり多い

J Allergy Clin Immunol 2008;122:984-91

加熱卵摂取開始が遅いと卵アレルギーが増加



J. J. Koplin et al. Can early introduction of egg prevent egg allergy in infants?
A population-based study: JACI 2010; 126: 807-813

最近は、離乳食の開始を遅らせても、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎の予防には役立たないという国外のコホート研究の結果が多くなっている

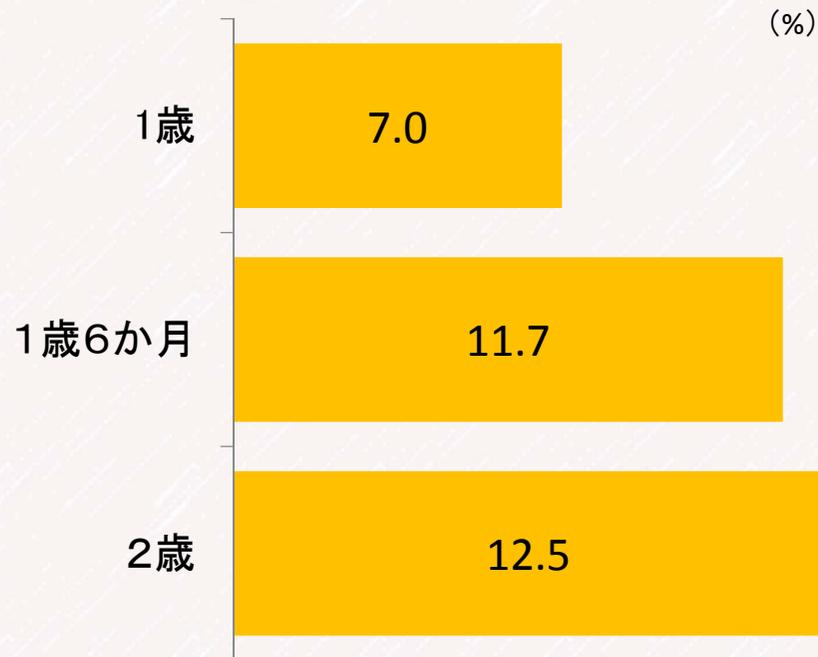


それでは

エコチル調査に参加している皆さんは、どのような行動を
されているのでしょうか



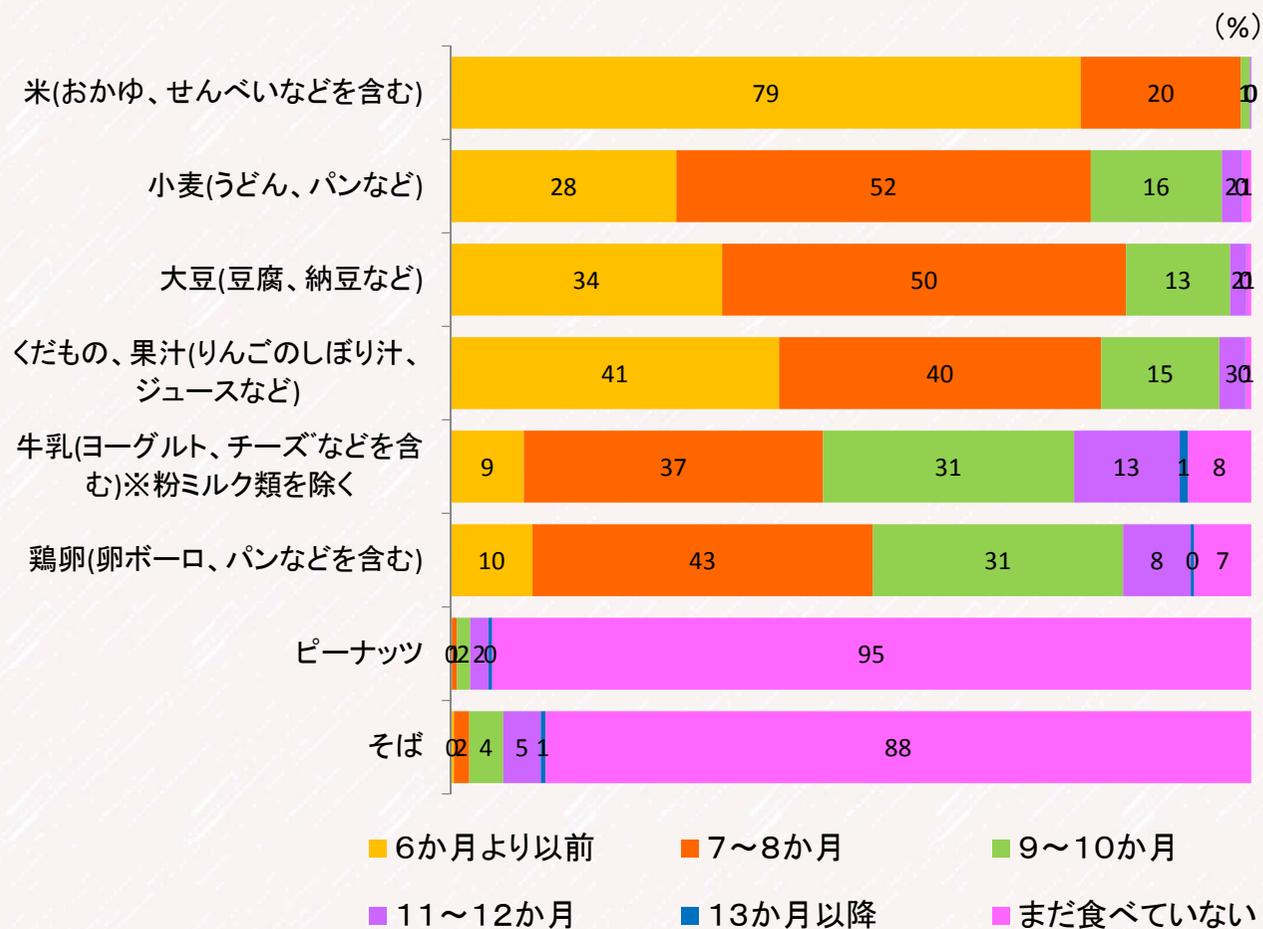
食物アレルギーと診断されたこと



回答数:25577件

- ◆ 1歳までに食物アレルギーと診断されたお子さんが7%。
- ◆ 1歳6か月まででは11.7%、2歳まででは、12.5%。

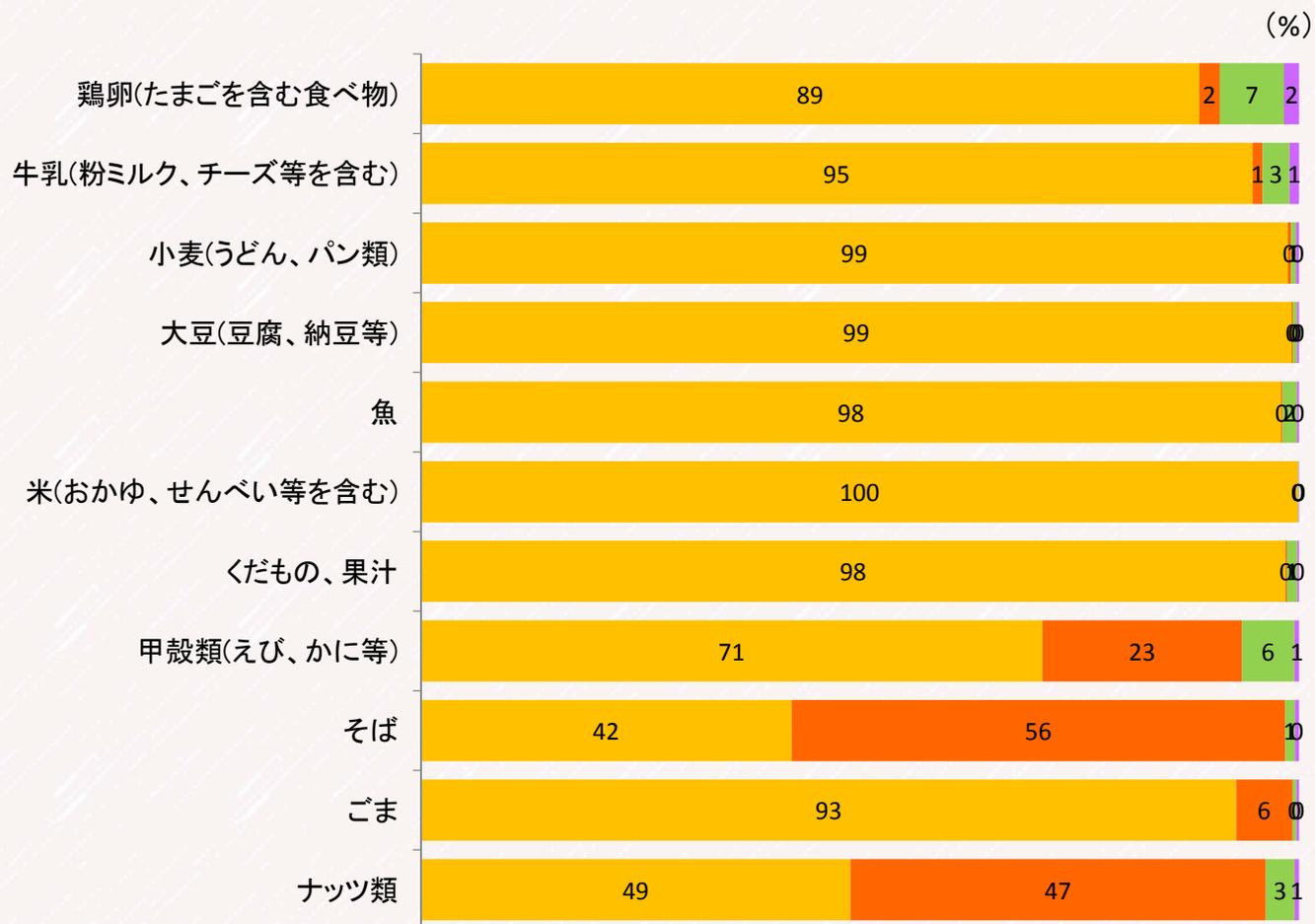
食べ始めた時期



回答数: 58418件
(無回答: 102~1183件)

◆ 一般的にアレルギーになるとされる食品について、食べはじめが遅い、あるいは、まだ食べさせていないという傾向がみられる。

食べないようにしている食べ物

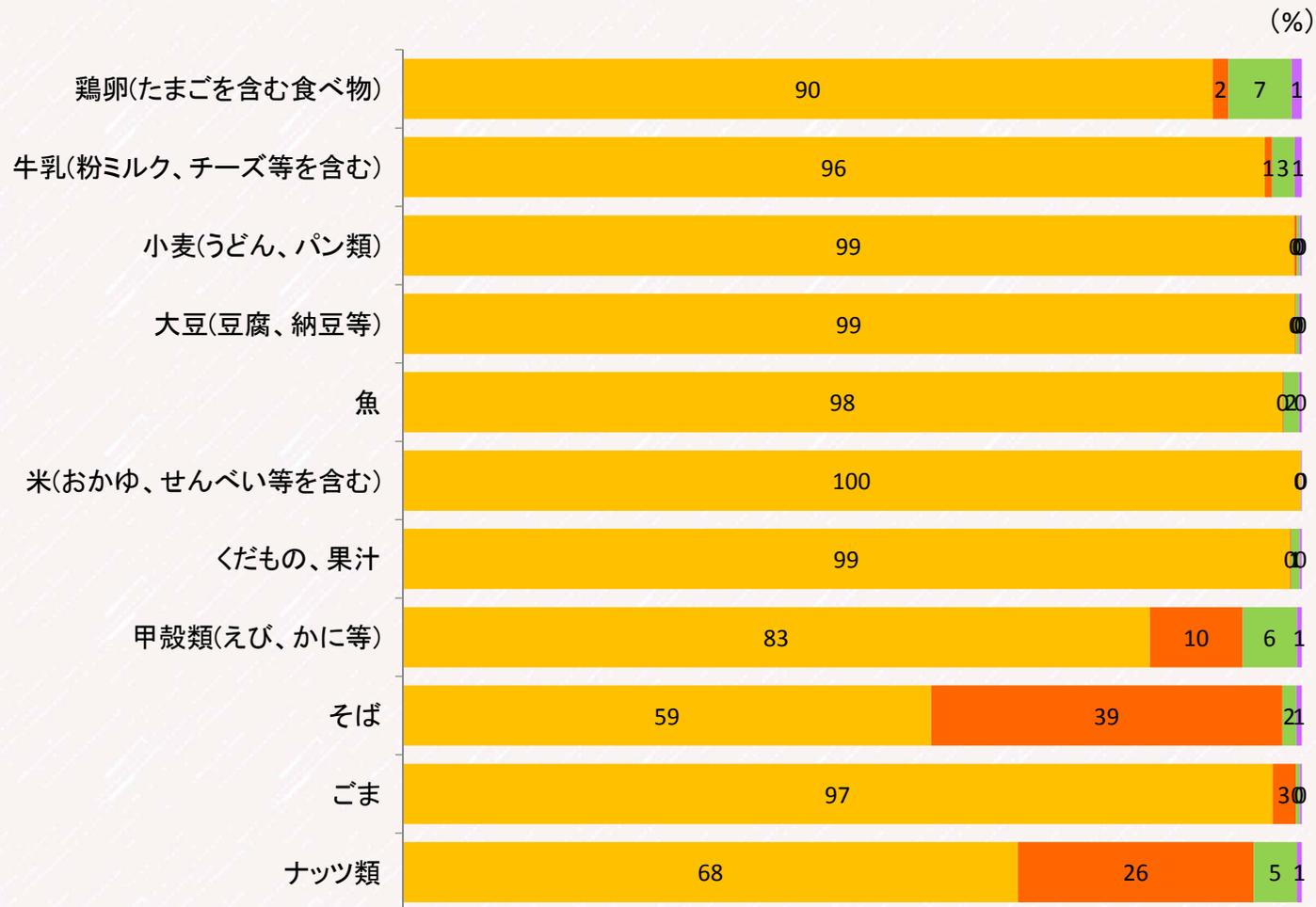


- 現在普通に食べている
- 今まで全く食べたことがない
- 現在、一部食べないようにしている
- 以前食べていたが、今は全く食べていない



回答数: 40680件
(無回答: 398~550件)

食べないようにしている食べ物



- 現在普通に食べている
- 今まで全く食べたことがない
- 現在、一部食べないようにしている
- 以前食べていたが、今は全く食べていない



回答数: 26521件
(無回答: 198~260件)

医師の指示以外で特定の食べ物を食べないようにしたこと



回答数: 26521件
(無回答: 259件)

- ◆ 21%が、医師の指示以外で特定の食べ物を食べないようにしたことがあると回答。

食べないようにした理由



回答数: 5533件

◆ 「アレルギーが心配」という人が80%。

まとめ



- ① 最近では、離乳食の開始を遅らせても、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎の予防には役立たないという国外のコホート研究の結果が多くなっている。
- ② エコチル調査に参加しているお母さんたちの行動をみると、一般的にアレルギーの原因になるとされる食品について、食べはじめを遅らせる傾向にあることが伺えた。

それでは

子どもに卵とかナッツとかを食べさせる時期を遅らせたほうが、アレルギーが減るのか？ それとも、増えるのか？

◎ あと2－3年すると、エコチル調査の結果から、その答えがわかります。



【参考】エコチル調査では、2歳児 5000人のアレルギーについて調べる血液検査（医学的検査）を本年4月より実施